

令和5年度 事後評価シート(細施策)

記入要領

赤枠 = 要記入

黄緑赤字 = 数式入り

ピンク赤枠 = プルダウンで選択

上記以外のセルは、KPIツリー及び部局別事業一覧から転記(念のため、誤りがないか確認のこと)

施策	● ×××××××
K G I	①○○○の実施率【基準値】××.××%（令和4年）【目標値】×××%

【細施策シート】

策シート】

KGI種別:上がると良い指標＝実績値÷目標値
KGI種別:下がると良い指標＝目標値÷実績値

担当部局

○○部

施策KGI

①

細 施 策

28

※※※※の推進

K G I

この一年間に、●●●した人の割合(アンケート)

達成率≥100%:達成、達成率<100%:未達成

KGI種別

上がると良い指標

R 5 年 度

R 6 年 度

R 7 年 度

R 8 年 度

時点・期間

R 4年度

時点・期間

R 5年度

時点・期間

R 6年度

時点・期間

R 7年度

時点・期間

R 8年度

現状値

18.7 %

目標値

21 %

実績値

11 %

達成率

52.4 %

判定

未達成

目標値

27.9 %

実績値

%

達成率

0.0 %

判定

自動入力 (達成or未達成)

5 年 度

要因分析
【必須】

改善の方向性
【必須】

(実績値、達成率の要因について、外的要因も含め具体的にデータ等を用いながら様々な視点を踏まえて記入)
○○事業や××事業により、●●●に取り組む機会の創出を図ったが、△△の影響で●●●活動への参加を見送る人が前年度比※※%増となり、目標達成には至らなかったと考えられる。

KGIの目標達成に向けて、△△の影響を払しょくするためには、◆◆で示されているように○○の強化が有効と考えられることから、□□の支援等により対策を強化することを検討するとともに、○○を促進するための新たな取組みも合わせて検討する。

構成事務事業の評価結果も踏まえて、細施策の成果向上に向けた構成事務事業の見直しや新規事業の必要性について検討のうえ記載してください。
また、下記の視点により、新規施策等検討会議や次年度当初予算に向けた重点化(テコ入れ)すべき細施策かどうかの目途付けを行ってください。

項 目	視 点	主 な 判 断 ポ イ ン ト
重要度	細施策が総合計画の施策目標の達成に向けて重要かどうか (施策KGIとの関係性に着目)	①施策KGIとの因果・相関関係 (施策KGI向上に貢献することを定量的または論理的に説明できるか) ②細施策間の相対比較 (部局が所管する細施策を比較検討し、相対的に重要な細施策であるか) ③KGI向上余地 (構成事務事業を見直しまたは継続することで、さらなるKGI向上が見込めるか) ④テコ入れの必要性 (施策KGIの成果向上に向けてのボトルネック、全国順位が低い等)

令和5年度 事後評価シート(事務事業)

赤枠 = 要記入

黄緑赤字 = 数式入り

ピンク赤枠 = プルダウンで選択

記入要領

複数年事業で、KPIの年度別の成果が取得できない場合は、目標を達成するために、途中年度の取組みがねらいどおり実施されているかを測るため、KPIとは別に経過指標(事業の進捗や行政の活動量(アウトプット)を測る指標)を設定して評価を行ってください。その場合、経過指標である旨の記載と本来の成果指標をKPI欄に記載してください。

始期、終期ともに予算見積額一覧表の表記に合わせてください。(年号、数字ともに半角)令和元年度はR1と記載してください。

【事務事業シート】

全事項対象	1 当初	事項	〇〇〇推進事業費				予算主管課	×××課		
		事業概要	×××により、△△△につなげ、●●●を図る。				始期	R3		
							終期	R6		
	KPI	●●●件数	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度	R 6 年 度	R 7 年 度	R 8 年 度		
			時点・期間	R3~R5年度	時点・期間	R3~R6年度	時点・期間		時点・期間	
			目標値	150 件	目標値	250 件	目標値	件	目標値	件
			実績値	80 件	実績値	件	実績値	件	実績値	
			達成率	53.3 %	達成率	0.0 %	達成率	0.0 %	達成率	
		現状値	80 件							
	コスト	予算額	1,000 千円	最終現計	千円	最終現計	千円	最終現計	千円	
決算額		990 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
要因分析	評価年度(「達成率100%未満」の場合、要記入。実績値が目標達成しなかった要因を外的要因も含め具体的にデータ等を用いながら様々な視点を踏まえて記入。)									
	※終期延長(R5→R9) R6目標値 200件、R7目標値 250件、R8目標値 300件 ●●●を実施したことで上半期は前年度比○%増と順調に推移したものの、×××の影響で〇〇〇が発生し、下半期の実績が前年度比△%減と伸び悩んだため、未達成となった。 総括(事業最終年度の場合、要記入。「何ができたか」と今後の展開について記入。) ●●●の実施により、3年間で新たに××の地域で〇〇〇の取組みが開始するなど、KGI実績値の向上に好影響を与えることができた。令和6年度以降は、民間主導により横展開を図り、全県に取組みを浸透させる。									
5 年度	見直し方向性	改善	見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等)) 見直し時期(執行に反映するか、次年度予算※R5年度事業評価の場合、R7年度予算に反映するか)も記載 【記載例】 〔維持の場合〕5年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。 〔廃止の場合〕事業期間の満了により廃止する。/□月までに〇〇〇が実現すれば、当初の目的を達成したと考えられることから、予定通り廃止する予定。/5年度のKPI実績値は、非常に好調であるが、〇〇のため、6年度中には頭打ちになると考えられることから、6年度に事業終了の方向で検討する。/当初想定していた事業効果が見られず、細施策KGIとの相関関係もないと考えられることから、6年度に廃止を検討する。/事業終期は8年度であったが、5年度時点で最終目標を達成しており、当初の目的を達成したことから、6年度に廃止を検討する。 〔改善の場合〕5年度の目標達成率が想定よりも低調であったことに加え、〇〇という現状を踏まえると6年度も同様の状況が見込まれるため、6年度の執行から、●●●の周知を××まで拡げる改善を図り、対象の新規掘り起しを行い、更なる成果の向上につなげる。/細施策KGIとの相関関係も高く、6年度も目標値以上の成果向上が見込まれることから、7年度はKPI目標値引上げを図るとともに、事業内容を拡充する。 〔大幅見直しの場合〕KPIの実績値が伸び悩んでおり、6年度も〇〇という状況を踏まえると同様の状況が想定されることから、このまま回復の兆しが見られなければ、7年度において、事業対象や手法も含めて大幅な見直しを検討する。							
			見直し方向性は、下記「事業推進マトリクス(見直し方向性を「示唆」するもの)」及びKPI実績値の要因分析や事業継続評価等を踏まえ、検討を行ったうえで選択してください。 「維持」「廃止」「改善」「大幅見直し」から選択							

実績値が未判明の場合は、判明予定時期を記載してください。(例:R5.6頃判明 等)

R6年度当初予算要求時に終期を変更(延長または短縮)し、令和5年度予算見積額一覧表の記載と異なる場合、変更後の終期及び変更後の終期までのKPIの目標値(終期がR9年度以降の場合、R8年度までの目標値)を記載。KPI自体の変更を行った場合は、変更後のKPI名称も記載してください。

実際の終期に合わせて必要な項目を入力

●事後評価マトリクス(事業の見直しの示唆)

